



# 活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

平成28年 11月		平成28年 12月		平成29年 1月	
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	火	NMオープンフォローセミナー 共済制度推進委員会/特別セミナー	1	木	中小企業支援委員会正副委員長会議
2	水	巡回監査士試験	2	金	北海道研修所役員会 札幌東・札幌西支部合同忘年会
3	木	文化の日	3	土	
4	金	現場力養成講座	4	日	
5	土		5	月	現場力養成講座
6	日		6	火	書面添付推進委員会
7	月	ニューメンバーズ実務セミナー 会員研修[帯広]	7	水	広報委員会
8	火	正副会長会/顧問・相談役・参加者	8	木	正副会長会 日本政策金融公庫との交流会
9	水	巡回監査士補試験 巡回監査・事務所経営委員会	9	金	
10	木	広報委員会	10	土	
11	金	会員研修[札幌]	11	日	
12	土		12	月	理事会 忘年会
13	日		13	火	
14	月	北洋銀行との連携強化セミナー	14	水	
15	火	理事会	15	木	
16	水		16	金	
17	木	NMフォーラム2016in東京	17	土	
18	金	NMフォーラム2016in東京	18	日	
19	土		19	月	
20	日		20	火	
21	月		21	水	広報委員会
22	火		22	木	
23	水	勤労感謝の日	23	金	天皇誕生日
24	木		24	土	
25	金	租税判例研究会 会員研修[旭川]	25	日	
26	土		26	月	
27	日		27	火	
28	月	資産活用委員会大和部会特別研修会	28	水	
29	火	システム委員会	29	木	
30	水		30	金	年末年始休暇
			31	土	年末年始休暇

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

# TKC北海道

かいほう

2016.11.25  
第215号



TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル4階  
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622

発行責任者/加藤恵一郎 編集責任者/山谷 謙太 印刷所/株式会社メディアプラネット



Chance, Change and Challenge  
TKC HOKKAIDO

祝出席率100%



TKC北海道会函館支部  
第43回定期総会

▲函館支部 定期総会

TOPICS

## 「函館支部」会員全員参加で 定期総会開催する …P02

出席率100%定期総会、事務所経営塾開催

金融機関 トップ会談 …P03

秋季大学特集 …P05~P10

基調講演・特別講演・懇談会・ゴルフコンパ・エクスカージョン

会員訪問 名越隆雄会員 …P16

NEWコーナー スーパカレーは本懐、そこに萌えんとは、君 前嶋章宏 …P18

eひと・eはなし ●札幌西支部/藤田 雄一 ●札幌西支部/谷水 千晶

## 出席率100%定期総会、事務所経営塾開催

平成28年8月18日(木)フォーポイントバイシェラトン函館(旧 ロワジュールホテル函館)で、TKC北海道会函館支部第43回定期総会が開催されました。

函館支部では、全員参加による支部運営をモットーとして会務運営を行ってきました。その結果、7月に行われた全国役員大会では支部例会参加率87.5%と、全国133支部の中で最も高い支部として表彰されました。常々参加率100%を実現しようとする会員の皆さんに声をかけていました。また、全員集まったら全員で写真を撮りましょうとも声をかけていました。しかし、昨年は色々な事情があり全員参加を実現できませんでした。

ところが、今回の定期総会では開催案内を出したところ、全員から参加の返事をいただきました。今度こそ参加率100%を実現できる!と期待が高まりました。本当に全員が参加してくれるのであろうか、忙しい先生ばかりなので、緊急事態が生じキャンセルする方もいるかもしれないと期待と不安を交錯させながら早めに会場に入りました。開催時間の14時が近づきますと、徐々に会員先生が集まってきたので、参加者名簿をチェックしていきました。総会開始の14時になりました。残るはあと1名!丁度その時最後の会員先生が会場に入ってこられて、会員17名の全員参加が実現しました。会場からは思わず拍手が湧き上がりました。

まずは全員揃ったのだから記念写真を撮りましょうと道会の岩本敏美副会長と共に写真撮影をし、その後定期総会に入りました。

定期総会では、「平成27年度事業計画・決算

書承認の件」、「平成28年度事業計画・収支予算承認の件」、「支部役員会務分担の件」について無事承認をいただきました。

その後、引き続いて蛭子井眞市副支部長の司会進行で事務所経営塾に移りました。事務所経営塾は誰かが講師になるのではなく、参加者全員が講師という考えで各事務所の現在の状況・問題点・成功事例等について報告してもらい、それを会員全員が共有するという考えで行っています。ルールはただ一つ、全員が発言するという事です。会員の皆さんからはFinTechの取組み状況、巡回監査・書面添付の実践状況、職員の人材確保等について報告がされ、それに対する意見交換が行われ有意義な事務所経営塾になりました。

函館支部の例会参加率は、今になって高くなったのではなく、思い出せば私が入会した平成13年当時から多くの会員先生が参加されており、支部の結束力も高いものがありました。今回、全員参加が実現できたのも先輩諸氏の意識の高さと函館支部の伝統の賜物と感謝しています。

今後の課題としては、全員参加はできたものの中味が伴わなければなりません。支部会員が相互に切磋琢磨することにより、事務所総合力の向上、業務品質のアップに繋がり、ひいては関与先の繁栄に資する必要があります。その意味では、支部例会が会員相互の情報交換と意識向上に役立つものであり、支部例会が函館支部の団結力を誇示できる場でありたいと考えています。

(函館支部長 細川 拓厚)

前回に引き続き金融機関トップ会談の報告です。道内地銀2行と4信用金庫との会談については既報のとおりですが、その後は開催順に、9月は苫小牧信用金庫、旭川信用金庫、10月は稚内信用金庫、北空知信用金庫、江差信用金庫の5金庫とのトップ会談を実施しました。今回ご報告した5金庫のうち旭川信用金庫を除く4金庫は、新たな覚書締結先となります。

新たな覚書締結先の金融機関の理事長や担当役員には、TKC全国会の理念や目的の説明から、TKC会計事務所が信頼性の高い決算書を提供していることなどを説明させていただきましたが、今後については、会談する人数を増やした協議会やTKC会員と金融機関職員さんたちとの交流会

に発展していくようすすめていきます。

金融庁が各金融機関に対してFinTechについて研究するように指示をしたことも追い風となって、トップ面談後、TKCとの覚書の更新または新規締結先は2地銀5信金、TKCモニタリング情報サービス利用申込は2地銀3金庫になっております。金融機関では、システムセキュリティの観点から、コンピュータが外部から遮断されていることが多く、TKCモニタリング情報サービスの利用には、インフラ整備にもう少しの時間がかかりそうです。また、金融機関からの評価としては、月次決算報告シートが良いというもののほか、月次試算表等提供サービスを利用して、取引先様の資金需要を提案していきたいという声もありました。

## CONTENTS

●「函館支部」会員全員参加で定期総会開催する	02	●支部例会・研修会だより	13
●金融機関トップ会談	03	●平成28年 書面添付実践件数	14
●秋季大学		●会員訪問	16
基調講演「TKC FinTechサービスの真の狙いは何か?」	05	●スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君	18
特別講演「北海道とそらちの地方再生」	06	●棚おろし評	19
～「地産地消」で地域再生を図る		●リレーエッセイ「時・空・人」	20
循環的システムの構築こそが切り札～		●委員長やまの取調室	21
特別講演 アジア半球の時代をどう生き抜くか	07	●新入会員の紹介	23
～北の大地にとってのロシア・中国・朝鮮半島戦略～		●編集後記	23
懇談会	09		
ゴルフコンペ～メンバーとコースに愛されて!!～	09		
●TKC北海道政経研究会 第6選挙区 今津議員との懇談会	11		
●衆議院議員 和田義明議員との懇談会	12		
		<b>eひと・eはなし</b>	
		●札幌西支部／藤田 一雄	10
		●札幌西支部／谷水 千晶	22

来年4月からのTKCモニタリング情報サービス完全提供に向けて、各事務所は時流に乗り遅れないよう、準備を進めていただきたいと思います。折に触れ利用可能金融機関や時期についてはお知らせをまいりますので、よろしくお願いいたします。

(札幌西支部 小川 裕也)



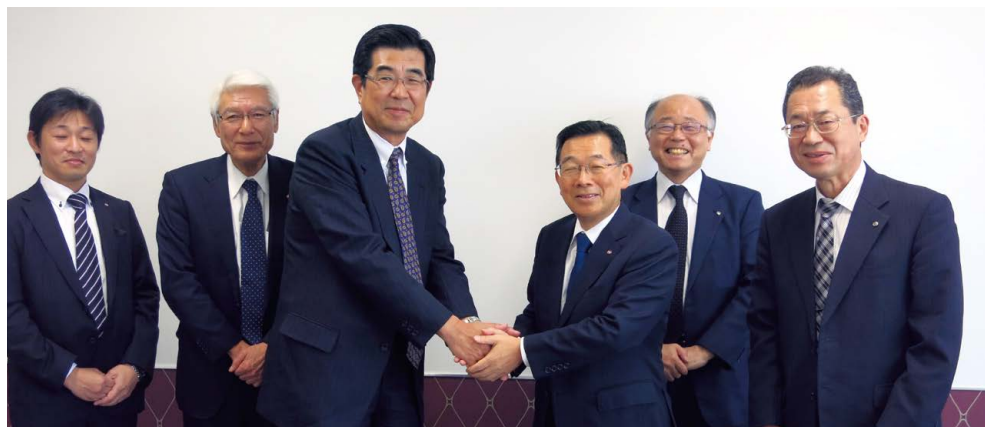
苫小牧信用金庫にて



稚内信用金庫にて



北空知信用金庫にて



江差信用金庫にて



## 秋季大学 基調講演 「TKC FinTechサービスの真の狙いは何か？」

平成28年9月21日(水)、岩見沢平安閣において、第40回TKC北海道会秋季大学が開催されました。

今年、(株)TKC代表取締役専務飯塚真規氏を基調講演の講師にお迎えしました。

● ● 短期間のうちに、国の施策となり、世間を席卷し、震撼させている感すらある「FinTech」に、(株)TKCがいかに対処しているか、その背景となっている考え、サービスの概要、提供時期等についてのご講演をいただきました。

● ● 昭和52年「TKC会報56号」のTKC飯塚毅初代会長による次のような巻頭言に言及して、現在のFinTech問題との対比をされていました。

● ● 1960年代に、アメリカの銀行が取引先の各種財務計算を受託し始めたことに対し、職業会計人が強い危機意識を抱いたこと、幾たびかの協議の後、個別企業の内容と詳細を知悉しているのは職業会計人であり、銀行と職業会計人は相互補完の関係を築くべきだとの結論に達したこと、やがてそれが実現したこと、これらが初代会長の巻頭言で触られています。

● ● これに倣い、FinTechの時代を迎えても、金融機関との連携は可能であり、強化されるべきであること、技術革新は止められるものではなく、時代の先端に立って職業専門家としての信頼を勝ち得てゆくことが重要であること等、熱意あふれるお

話しぶりでした。

具体的には、TKCによるFinTechサービスは、金融機関向け新システム「TKCモニタリング情報サービス」と関与先向けシステムのレベルアップ「銀行審判データ受信機能」の2つにより構成されることが確定しており、順次システムが構築されているとのことでした。

前者により、金融機関が関与先である取引先企業を適切に評価することに資し、金融機関と連携し、TKC会員の強みを発揮してゆくことが可能になり、後者により、関与先の仕訳入力業務を効率化し、月次決算の早期化を実現することが可能になります。

それらの実現のためにも、自計化、巡回監査、電子申告、書面添付、予算登録による事務所総合力の強化が急務であることを強調しておられました。

今の段階ではこれらの確実性は必ずしも保証されていないものの、期待値は高まりつつあります。時代の変わり目がすぐそこに来ていることを痛感します。

(広報委員 鎌田ふくみ)



特別講演  
秋季大学 「北海道とそらの地方再生」  
～「地産地消」で地域再生を図る 循環的システムの構築こそが切り札～

日本総合研究所・主席研究員 藻谷 浩介氏

とても刺激的な講演だった。

講師は、日本総合研究所・主席研究員の藻谷浩介氏。藻谷氏は、日本政策投資銀行参事役を経て現職に就いているが、長年、地域経済再生のために全国で提言を続けている。日本の全市町村をくまなく回り、年間300回もの講演活動を行う。著書に『デフレの正体』や『里山資本主義—日本経済は「安心の原理」で動く』等があり、身近な資源を活用する地域発の新たなライフスタイルを提言している。

講演は冒頭から型破りだった。「北海道は日本の食料基地というイメージがあるが、本当にそうか。北海道と中国を比べて、どちらが食料の輸出が多いか、実際の統計を調べて判断することが大事だ。イメージや空気は事実と違う。常に事実を数字で確認しなくては間違える。チェックする習慣を身に付けてほしい」と語り、次々に三者択一あるいは二者択一の質問を会場に問いかけながら講演は進んだ。

最初のテーマは、空き家問題。都道府県別の空き家率や空き家数を示しながら、「地方の空き家問題が報道されるが、空き家の絶対数は都会の方が多く、むしろ空き家の対策が急がれるのは都会圏である。特に老築化したマンションやアパートの問題は深刻だ」と説明。

その上で札幌市の空き家問題に触れながらも、

「実は北海道全体では、世界的に見ると人口密集地域に入ることをデータで示し、イメージと事実の相違を指摘し、人口動静のデータを提示しながら、会場に質問を次々と問いかけていく。

札幌市や岩見沢市、三笠市、西興部村などの、15歳未満の子供世代、15歳から65歳までの生産人口、65歳から75歳の老年人口、さらに75歳以上の後期高齢人口の割合の推移を質問し、実際のデータと回答（イメージ）のずれを明らかにしつつ、それぞれの地域の人口動静を明示した。

65歳以上を「ビートルズ世代」と区分し、「今後札幌市は増加し、この世代への対応に税金が今後も投資される。岩見沢市は、この世代の増加が止まりつつある。そして三笠市や西興部村は、もはやビートルズ世代は減少に入り、逆に子供世代や生産人口が増えつつあり、子育て世代への税金投資が可能な状況であり、税の還元という視点では地域創生にとって有望だ」と、他の成功事例を紹介しつつ指摘した。

続いて、地域再生の事例として、ニセコ町と小樽市に言及。「地産地消」の視点から切り込む。この対比事例として、世界有数の企業（トヨタ自動車）を抱える愛知県豊田市の人口動静を提示し、生産人口はいずれ老年人口に移り税金サービスを受取る層になること。さらに技術革新で生産効率が進めば一層生産人口が減少し、支えるべ

き人口の負担が増大することを厳しく指摘し、優良地方自治体といわれている豊田市の未来が明るくないことを説明した。

そこで「地産地消」の重要性を強調する。「地域外に出ていくお金を極力減らし、地域外（観光客など）から“外貨”を稼ぎ、コスト（原価）は極力地元産から供給する仕組みを作り上げることが、最も肝要だ」と強調した。

「ニセコ町と小樽市の相違は、コスト（原価）を地元から供給しているのか否かの相違であって、決定的な要素は、結局のところ商売のやり方に帰着する。自分たちがある程度の幸せを享受し、地域全体が調和を取れた状況で回り、観光客や社会全体に還元できることで永続的な維持がで

きる」と指摘し、「地域のお金の使い方を地域の中で還元できるシステムを築くことだ」と結論付けた。これが、藻谷氏が提唱する「里山資本主義」の一端のようだ。

地域（地方）再生という視点で、改めて「地産地消」の重要性を認識した、極めて知的興奮に満ちた講演であった。

（広報委員会 岡崎 正毅）



特別講演  
秋季大学 「アジア半球の時代をどう生き抜くか」  
～北の大地にとってのロシア・中国・朝鮮半島戦略～

講師 手嶋 龍一氏

特別講演のお二人目として、芦別市出身で岩見沢東高校を経て慶應義塾大学経済学部を卒業され、2001年の9・11テロ事件では、NHKワシントン支局長として11日間にわたる24時間連続の中継放送を担当された手嶋龍一氏に「アジア半球の時代をどう生き抜くか～北の大地にとってのロシア・中国・朝鮮半島戦略～」と題しまして、以下のようなご講演をいただきました。

「まず注目されているアメリカ大統領選だが、嫌われ者同士の対決と言われている。人権・女性差別（ガラスの天井）のない社会を掲げているクリントン氏と、暴言王と揶揄され米国第一主義を主張するトランプ氏で争われているが、選挙戦を熱くす

るためにメディア側が「嫌われ度」などの数字を発表しているようで、メディアの責任は重いと思われる。アメリカ大統領選はアメリカ版国盗り物語と言われており、小泉政権時代のBSE問題の時にはオハイオ州が大統領選に影響を及ぼしたことから、オハイオがホワイトハウスを制するとまで言われている。

またオバマ大統領は、トランプ発言を契機に広島を訪問し、犠牲者を追悼し被爆者との対話も行っている。

ロシアにおいては外交攻勢を強めており、イギリスのEU離脱とアメリカ大統領選をかいくぐって中国と接触しようとしているようである。日本とは5月

のソチ会談で北方領土問題において経済協力することを日本側が提示、12月に行われる山口会談では、平和条約締結後に歯舞・色丹を日本に引き渡すと明記された「日ソ共同宣言」を基本に交渉が進められると思われる。しかし2015年8月に、メドベージェフ首相が国後・択捉島を訪問し軍関係のインフラ整備を進めていて、中国側の戦略を見てもロシアとの棘は抜いておくべきと考える。

さらに、北極海航路の時代が到来すると考えられる。中東との距離は30%減、燃料も40~50%減する上に海賊もおらず極東の資源も豊富であり、2014年には355隻が北極海航路を利用しているが日本は0である。

北朝鮮においては戦略核ミサイル開発を進めており、核ミサイルの新鋭化を行ってきている。中東とは「核の地下道」と言われるルートで輸出入が行われており、シリアには北朝鮮から輸出された工場が建っているなど、核技術・施設を中東に輸出して小麦を輸入するなどの取引が行われている。国連決議も重要ではあるが、アメリカが空爆などの外科的手術をしなければならないと考える。しかしアメリカは伝家の宝刀を抜かないと考えられ、日米関係にほころびができるのではないかと懸念される。

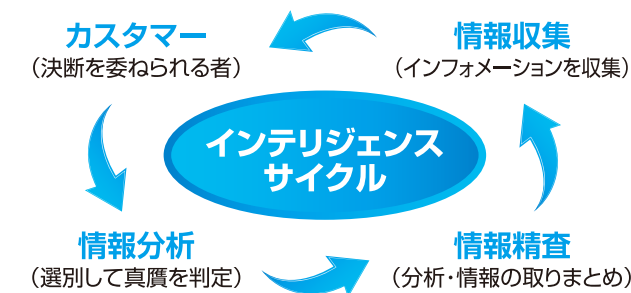
次に尖閣諸島問題については、2013年にオバマ大統領は「尖閣諸島の領土問題についてはどちらの立場も取らないので、双方がエスカレートしないように対話をしてもらいたい」と発言しており、日中関係のことを考えると日米安全保障条約の問題は難しいと考える。アメリカが尖閣防衛に出動するのかなど問題について、オバマ大統領と安倍総理が東京銀座にある「すきやばし次郎」で食事をしながら会談を行ったが、尖閣諸島

問題で日米安全保障条約が発動されるかどうかはわからない状況である。

安倍総理はアメリカ議会において「第二次世界大戦記念碑広場の西側にあるフリーダム・ウォールの壁面には、金色に輝く4,000を超す星が埋め込まれている。その星ひとつひとつが戦陣にまみれた兵士100人の命を表していると聞いた時、私を戦慄が襲いました」と述べていたが、歴史を顧みるとアメリカと日本は理念の同盟という絆で結ばれていると考えられる。

日常の業務において様々な情報収集・分析がされていると思うが、選び抜かれた情報こそが武器としてのインテリジェンスであり、一般情報であるインフォメーションとは異なりより高度な極秘情報と解される。

インテリジェンスについては、次のようなサイクルで構築されている。



今、東アジアは動乱の時期を迎えている。2015年に中国が「赤い舌」の人工島に中国軍機を配備したことが米中対立の幕開けとなり、2016年7月にはオランダ・ハーグの常設仲裁裁判所が中国の主張する権利は認められないと判断したが、中国は詭弁を繰り返している。

尖閣諸島問題は、東アジアの政局の要ともいえる。

『ウルトラ・ダラー』『スギハラ・ダラー』『インテリ

ジェンスの賢者たち』など、多数の著書を上梓されている手嶋龍一氏ですが、外交・安全保障を中心にすばらしい分析をされていることをまざまざと実感でき、たいへん有意義に拝聴させていただきました。

(旭川支部 舟橋 馨)



## 秋季大学 懇談会

● 怒涛の講演が終了し、場所を北海道グリーンランドホテルサンプラザに移して、盛大に懇親会が開催されました。

● 懇親会では、岩見沢の「喜地丸燻(きじまるくん)」のラーメンや「天狗まんじゅう」などを堪能しながら、企業防衛の表彰があり、最後はAKB48の『365日の紙飛行機』を合唱団とともに歌いました。

● 最後、多数の紙飛行機が飛びまわりましたが、

● その中に当たりがあり、景品がもらえる演出でした。山田めぐみ会員が見事1等を獲得しました。

(札幌西支部 山谷 謙太)



## 秋季大学 ゴルフコンペ ~メンバーとコースに愛されて!!~



皆さんこんにちは、苫小牧支部の駒井です。先日行われた秋季大学親睦ゴルフ大会で優勝させていただきました。私は4年前に体調不良で激ヤセしてから、特にゴルフに関しては辛い時期を過ごしてまいりましたが、最近やっと自分の体とゴルフ

を受け入れることができ、今回の結果となりました。  
今回はメンバーとコースに恵まれたというよりも愛  
されていると感じとても幸せです。

の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、ありが  
うございました。

(苫小牧支部 駒井 桂伺)

今回秋季大学を担当していただいた空知支部

## eひと・eはなし 弊所の所長(石田利之)税理士を御紹介します。



札幌西支部

藤田 雄一  
Yuichi Fujita

所長は、証券会社へ就職後、コンサルティング会社へ転職、いろい  
ろな経営者と接するうちに経営の面白さを実感し、経営者をサポートする職  
業として税理士となり、独立開業いたしました。

北海道には、優れた自然環境や多様な食材、エネルギー資源など、他  
の地域には見られない、独自性や優位性の源となる価値があります。特  
に「観光」と「食」という大きな2つのブランドが確立されています。これら  
のブランドを目当てに、国内のみならず海外からも多くの観光客が訪れ、北  
海道経済を支える重要な収入源となっています。

もっとも、飲食業界においては、優れた食材、技術を用いて開店しても、競争が激しく経営次  
第によって多くの店舗が、閉店していくのが現状です。そこで、所長は一般社団法人日本フード  
アドバイザー協会公認の上席フードアドバイザーという資格を取得しました。

この秋、弊所では一般社団法人日本フードアドバイザー協会・協賛の教育施設である「飲食  
店寺子塾」を開校いたします。飲食店経営やスタッフ・開業希望者等、飲食店に従事する方な  
らどなたでも、どんな時でも飲食の基礎を学ぶことが、できる場所を提供いたします。

これらの活動はまだまだスタートしたばかりですが、地道な活動を通じ、地元の飲食店を応援  
し、活気溢れる業界にしようと取り組んでいるところです。



## TKC北海道政経研究会 第6選挙区 今津寛議員との懇談会

**日時** 平成28年8月22日(月)午後6時

**場所** 旭川グランドホテル 5階 四季  
旭川市6条通9丁目右1号

**出席者** 今津寛代議士、藤田時人TKC北海道政経研究会会長、旭川支部会員12名

### 【議事】

定刻になり、窓口である渡辺祐吉会員が立ち、議員懇談会の開催を告げました。目下台風11号の影響少なからずあり、道悪の所、しかも多忙な各位の参集をいただき、ありがたく厚く御礼を申し上げるの意を述べ、懇談会開催に至った経緯を少しく述べ、さっそく藤田会長のご挨拶兼、道会の資料につき説明を求めたところ、約15分間にわたり、懇切に説明があり、次いで、これまたさっそくに今津代議士によるご挨拶と国政報告があり、参議院選挙の結果と道政界の影響や、内閣の安定度が世界に与える影響、さらに民進党と共産党

との選挙協力等、約30分間にわたり、熱弁があり、長老会員の青柳順也会員の音頭で懇親の宴に入りました。

今津代議士も大いに打ち解けて、引き続き深夜便で上京する限度の午後7時45分頃まで、ワインを口に席を替えながら会員との懇談にひとしおでありました。その後、時間がまいりまして、現支部長の薄井タカ子会員の中めの音頭で午後8時15分閉会となりました。

(旭川支部 渡辺 祐吉)



8月31日(水)札幌グランドホテルにて、去る4月24日(日)に故町村信孝議員の後継候補として、衆議院北海道5区補欠選挙にて初当選された和田義明議員を囲み、TKC北海道政経研究会主催の懇談会が行われました。

最初に藤田時人政経研究会会長よりTKC全国会の組織概要についての説明があり、和田議員からは、まず先の選挙で当会の選挙応援についての謝辞が述べられた後、初登院の感想および義父の町村氏が長らく使用されていた衆議院議員会館410号室に、ご自身の事務所として入られた時の感動を語られました。国政に対してさらには身の引き締まる思いで取り組む決意をされたとの話が印象的でした。現在担当は、内閣委員会と懲罰委員会に所属し、日々新しいことに誠心誠意取

り組んでいることの説明がありました。

続いて中川信喜政経研究会幹事長より【TKCからの提言】として、各税目についての当会の運動方針の説明が行われ、続いて池戸俊幸税政連会長からも【税政連からの提言】と、ぜひ今後は税制調査会など、税制面での活躍を期待する激励が述べられました。

その後は終始和やかに会食が行われ、和田議員は参加会員一人ひとりの話に耳を傾け、「なぜ帳簿の遡及訂正ができないことが帳簿の真実性につながるのか?」など、【記帳適時性証明書】について具体的な内容を会員に熱心に質問するなど、双方にとって非常に有意義な会になったといえると思います。

(札幌東支部 中田 浩貴)



## 8月支部例会を開催

8月8日(月)、TKC北海道会事務局にて、札幌西支部の例会が行われました。議論の中心となったのは、会員の参加人数についてです。札幌西支部における例会等の参加率は、他支部に比べると低い状態となっております。そのため、今回も、どのようにすると参加人数が増えるのかというお話しになりました。

鈴江誠支部長は「会員相互間の交流を重視した、楽しい支部活動を行いたい」とお話しされています。その点を踏まえつつ、今回は、数年前より人気を集めている運動会を行うのも良いのではないかと、また、卓球大会が良いのではないかと、などいろいろな意見が出ておりました。過去には、野球等が行われていたことも上原貢会員からお聞きすることもできました。今後、なんらかの形で実現されるかもしれません。その際は、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。その他、なにか良い案がございましたら、是非、お教えいただくと幸いです。

最近では、懇親会の場に変化を加えていただいております。食いしん坊の私にとっては、例会や研修会も楽し

みなのですが、それ以上に楽しみな要素となっております。動機が不純で申し訳ございません。

そして、今回の懇親会は、「CIRCO」と言うイタリア料理店で行われました。私は、所用のため参加することができず、とても悔しい思いをいたしました。食べログの点数は3.31(H28.9.9現在)。とても行ってみたいかったです。次回は、どこで行われるか、今から気になって仕方ありません。今後も、楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。

また、来年行われる秋季大会は、札幌西支部が担当となっております。そこで、実行委員長についても議題となりました。その結果、出席会員の全員の賛成を受け遠藤成紀会員が選ばれました。遠藤成紀実行委員長の指揮のもと、札幌西支部全員が一丸となって、来年の秋季大会の成功を目指してまいります。まだまだ早いお話ですが、よろしくお願いいたします。

(札幌西支部 村岡 学)



## 定期総会を開催

9月9日(金)、イン・ザ・スイートにて帯広支部会員16名の参加により、支部定期総会が開催されました。

来賓に北海道会より四ツ谷泰博副会長のご臨席を賜り、まず初めに河合敏支部長より支部長報告が行われ、北海道会が掲げる「新規自計化GO!GO!GO!大作戦」も残すところ4か月を切り、年末の繁忙期前にラストスパートをかけましようと呼びかけがなされました。

議事に入り第1号議案である平成27年度事業活動報告および決算、第2号議案である平成28年度事業活動計画および収支予算は、滞りなく可決されました。



支部総会の様子

総会後には北海道会書面添付推進委員会の中川一俊委員長をお招きし、書面添付の前提として関与先の自計化と経営者目線の役に立つ巡回監査業務をしていきたいと思います。総会後の懇親会も和やかに進み、盛会のうちに終了いたしました。

(帯広支部 関 有紀子)

平成28年 書面添付実践件数(平成28年9月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績		
			1~8月	9月	合計
1	札幌東支部	五十嵐 勝 義	87	9	96
2		市川 善 明	26	3	29
3		井上 晋 一			0
4		庵原 宏 章			0
5		岩本 敏 美	17		17
6		小田川 繁	11	1	12
7		梶原 宏			0
8		加藤 恵一郎	174	13	187
9		金子 雅 行	6	2	8
10		金坂 和 正	20		20
11		川股 修 二	75	4	79
12		小平 康 夫	34	5	39
13		斎藤 雅 昭	10	1	11
14		佐々木 忠 則	157	8	165
15		佐々木 俊 幸	5	1	6
16		佐々木 幸 徳	56	4	60
17		佐藤 俊 一	10	1	11
18		佐藤 伸 泰	60	1	61
19		下坂 登	2		2
20		清宮 純	69	5	74
21		田中 慎 也			0
22		千葉 寛 樹	82	3	85
23		塚田 修 治	59	8	67
24		出口 秀 樹	45	3	48
25		寺田 勉	58	10	68
26		中川 一 俊	23		23
27		中川 信 喜	39	4	43
28		名越 隆 雄	4		4
29		原 幸四郎	54	1	55
30		藤崎 登喜雄	10	1	11
31		藤田 時 人	75	5	80
32		本間 貴 久	75	9	84
33		本間 崇	3		3
34		宮下 直 樹	17		17
35		森下 浩	15	1	16
36		八島 依 子	7		7
37		山美 幹 生	30	1	31
38		横山 知 明			0
39		吉川 直 宏	3		3
40		米澤 篤 志	8	2	10

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績			
			1~8月	9月	合計	
41	札幌西支部	阿部 真 澄	27	7	34	
42		國分 敬 祐	3	1	4	
43		伊東 幹 世			0	
44		上原 貢	16	1	17	
45		遠藤 成 紀	106	7	113	
46		大沼 宏	4		4	
47		岡崎 克 明			0	
48		岡崎 正 毅	10		10	
49		岡村 圭 介			0	
50		小川 裕 也	8		8	
51		川端 忠 範	10	1	11	
52		小中 昌 幸	23	6	29	
53		杉村 弘 幸	5	1	6	
54		砂野 隆 英	16	2	18	
55		高野 一 夫			0	
56		竹中正 美	30	2	32	
57		田中 裕 之	85	9	94	
58		藤堂 愛 子	5		5	
59		西野尾 嘉 拓			0	
60		八森 恵 一		1	1	
61		平田 清 悦	25		25	
62		堀内 鶴次郎	23	2	25	
63		三上 勝 美			0	
64		宮崎 知 行	13	1	14	
65		村西 逸 郎	1		1	
66		茂木 賢 治			0	
67		森下 敏 美	12		12	
68		山崎 瑞 枝	3		3	
69		山田 めぐみ	3		3	
70		山谷 謙 太	62	1	63	
71		小樽支部	足立 竹 秀	7	1	8
72			澤田 忠 宏	38	3	41
73			西 正 則	4	1	5
74		函館支部	奥山 昌 弘	16	1	17
75			鎌田 直 善	25	4	29
76			北川 勝 弘	19	1	20
77			後閑 慶 子	5	1	6
78			千田 浩 文	5	2	7
79			蛭子井 眞 市	19	2	21
80			細川 拓 厚	20	2	22

平成28年 書面添付実践件数(平成28年9月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績			
			1~8月	9月	合計	
81	函館支部	松山高 治	17	1	18	
82	空知支部	大林 強		1	1	
83		木村 聡	37	3	40	
84		斎藤 恵美子	39	1	40	
85		坂本 和 繁	33	2	35	
86		谷 勲	22	2	24	
87		鳴海 敏 郎			0	
88		久井 恵			0	
89		八幡 吉 宣	20	2	22	
90		旭川支部	青柳 順 也	3		3
91			薄井 博	9		9
92	尾田 利 雄		45	3	48	
93	加藤 一 博				0	
94	金谷 博 光		67	2	69	
95	坂本 英 志				0	
96	佐藤 弘 道		2		2	
97	舟橋 馨		4		4	
98	渡辺 祐 吉	47	2	49		
99	稚内支部	松井 静 夫	11		11	
100	北見支部	井山 等	11		11	
101		南都 正 弘			0	
102	帯広支部	井上 理	11	1	12	
103		河合 敏	92	5	97	
104		清原 征 治	86	7	93	
105		白岩 征 之	87	8	95	
106		砂原 政 広	15		15	
107		谷本 倍 規	103	5	108	
108		中井 宏	46	5	51	
109		干場 慎 也	5	1	6	
110		松田 孝 志	3		3	
111		釧路支部	甲賀 伸 彦	86	6	92
112	高津 直 人				0	
113	近藤 康 範		26	2	28	
114	苫小牧支部	鈴木 圭 介	26	3	29	
115		猪股 冬 樹	12	2	14	
116		駒井 桂 伺	25	1	26	
117		佐藤 俊 生	11	2	13	
118		柴山 徳 雄	9		9	
119		多田 伸 一			0	
120		田村 耕 一	30	3	33	

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成28年実績		
			1~8月	9月	合計
121	苫小牧支部	湯谷 和 彦	55	4	59
122		小林 史 郎			0

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。  
 ※掲載は、随時TKC北海道会事務局にて受け付けています。  
 ※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。  
 ※実績は法人・個人合算しています。

書面添付推進委員会からのお知らせ

個人所得税の書面添付実践のお願い

1. 法人の書面添付を実践している場合はぜひ、個人所得税の書面添付にも取り組まれますようお願いいたします。
2. はじめて書面添付を実践される場合は比較的小規模で事業の把握がしやすい個人の書面添付から取り組むことをおすすめします。
3. 電子申告実践企業においては、自動で書面添付実践報告が可能となりますが個人の書面添付の場合、電子申告以外の書面添付実践報告は、従来通り「『書面添付』実践報告システム」で報告をお願いいたします。

末筆ながら貴事務所の益々のご発展をお祈りいたします。

以上







税理士 **名越 隆雄** 会員 札幌東支部

## 共に羽ばたけ！ お客様と事務所、 そして未来の子供達

### 1. 事務所承継当時

名越隆雄会員は大学時代にアメリカ留学をされ、就職活動時にはアメリカ現地法人がある某S電気会社への誘いもありましたが、お父様である故名越渡来欧先生と話し合い、事務所承継を考え大学院へ進まれ、昭和58年、当時ビッグエイトであった外資系会計事務所・アーサーヤング東京事務所へ入社し、監査部へ配属となり研鑽する日々を送られたそうです。

昭和63年にお父様が病気で入院、その年5月に名越会員は札幌へ戻りましたが、翌年平成元年3月25日に他界されたため、お父様と一緒に仕事をすることがなかったとのこと。「上手く承継ができたのは職員が全員辞めずに頑張ってくれたからで、今でも感謝しています。現在も50年以上勤めている方がいます」と、当時を振り返り感慨深く話されました。

### 2. TKC、活動

先代が昭和48年頃春野守夫会員(北海道会)にTKCを紹介されたそうです。「TKCの職業会計人、一人ひとりが強い信念と実行力を持つことが、全体として大きな力—これは社会を変えるような力—になる」と、その頃の故飯塚毅名誉会長を回想され、TKCの活動は人間的な成長の基、糧となったとも語って下さいました。

名越会員は、これまで北海道会副会長をはじめ多くのTKCの会務活動をされていますが、企業防衛委

員長時代がご自身にとって最も印象に残っているそうです。平成14年7月から約7年間も委員長を務めて下さいました。企業防衛8原則の下、先代より引き継がれ10年ほどで企業防衛保険保有が約40億円となり、委員長時代に50億円を超えてマスター会員になられたことより、当時のご活躍が窺えます。

企業防衛活動を通じ、他の会員とより親しく交流することができ、職業会計人として刺激を多く受け、事務所訪問からより良い部分を吸収することができたそうです。強い信念を持って活動することの重要性を知り、同時に自身を見つめる機会にもなったと率直なお気持ちをお聞かせ下さいました。また、委員活動は会員の為ですが、結果的に自分の為になると、自利利他の理念を語られ、われわれの委員活動にもエールをいただきました。

「現在、北海道会の企業防衛は隆盛を極めておりますが、非常に喜ばしく思っておりますし、若い先生のご健闘ご活躍を期待しています。全国会・副委員長に本間貴久先生がなったことを非常に嬉しく思っております」と笑顔で話されました。

### 3. 関与先との関わり、事務所の方針、経営等

社長や従業員の方々と積極的に対話し、企業が本州や海外へ進出、展開するという姿勢と共に、守りながら攻めるという、難しい課題を持って仕事に臨まれ、その志のサポートができる存在でありたいと、関与先への熱い思いを語られました。

在ニセコ外国人オーナー会社等については、外

資系オーストラリア人経営1社からスタートし、現在の海外関係シェアは関与先、売上とも15%ほどのこと、前述同様、コミュニケーションを大切に、オーナーと直接会われて関与を決め、契約書の説明も自分でされているとのこと。常にCNN、BBCなどから国際情勢や動向に注力され、相互理解を深めることに留意されているようです。

事務所職員の方には、簿記等の資格や英語力、そしてTKC研修参加や監査担当者に中級試験合格、そのほか国際感覚を共有するためにも職員全員参加の海外旅行研修を行っているそうです。意識向上を図られていると感じました。

### 4. グアテマラ名誉領事、未来の子供達へ

グアテマラ人経営の会社に関与したことから、グアテマラ人と3人でグアテマラやコロンビアにある合計40社以上と現地で商談などをし、ビジネスマッチング、取引サポートをされたそうです。その際、グアテマラ大使館と連絡を取り合い、大使との交流が始まり、約5年前の平成23年4月グアテマラ共和国名誉領事館を札幌に開設し、名誉領事になられたとのこと。

グアテマラは、マヤ文化の中心地で、マヤの人々が多く住み、生活レベルは未だに高くはなく、教育も十分ではないそうです。マヤの人たちへのサポートを念頭に、マヤ文化の紹介も含めた活動を行いたいというお考えです。札幌市には「こども領事」の制度があり、現在グアテマラこども領事は約15名だそうです。

「子供たちには「こども領事」という制度を通し、それぞれの国に対する認識を持つこと、札幌市民が海外をより近くに感じる良い機会と思っています。TKCの会員の皆様におかれましてもグアテマラをはじめ中

### 取材を終えて

取材直後に行われたグアテマラ・マヤの神話舞台の準備もあり、ご多忙でいらしたにもかかわらず、時間を割いていただき感謝申し上げます。事務所職員の方々の笑顔に迎えられ、名越会員のオープンマインドなお話の中、時が飛ぶように経ちました。中学時代はバスケットボールで中体連3位という体育会系部分もお持ちの名越会員の最近の自転車やスキー事情についても第二弾でお聞きしたいと思います。

(札幌西支部 近藤 勝美)

米各国に興味を持っていただけましたらありがとうございます。何かグアテマラについてご質問等ございましたらいつでも聞いて下さい」とのことです。

### 5. 夢、ニューメンバーズ会員へ

「私の夢は、関与先が北海道のみならず、本州や海外で活躍してもらうことです。そのサポートをしたいと思っています。また、海外の方にはビジネスの場所として「北海道」を紹介していきたいです。ニューメンバーの方々も大きな夢をもってダイナミックに活動し、北海道経済に寄与する人物になっていただきたいと思っています」



# スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君

## 第1回 ▶ なぜ札幌に来た?

はじめまして!

2016年9月末にTKCに入会した前嶋章宏と申します。入会していきなりですがコラムを連載させていただくことになりました。よろしくお願いします。

まずは自己紹介。

東京生まれ、東京育ち、札幌に縁もゆかりもなし。1994年に公認会計士二次試験合格も就職難(@\_@)

たまたま就職説明会に来ていた、当時上場していた就職人気ランキング上位のレコード会社に就職 \ (^o^)/

しかし約5年で完全子会社化による上場廃止。有資格者で入社した仲間は一人また一人と会社を離れていきます。

でも、せっかくの音楽業界。

「そうだ、社内で転職しよう!」

営業職で札幌に転勤、これが初の北海道、初の札幌でした。

転勤初日にすすきので客引きにつかまり、その後も軟禁、出入禁止、散財、カード詐欺、怒涛の札幌生活が2年間。

でも、そんな札幌生活で、一番ホッとしていたひととき、それが、仕事帰りに食べるスープカレーでした。よく通ったのは琴似の「カレー工房 花車」。

残念ながら今年3月に閉店してしまいました(おいっ! 初回から閉店かっ!)

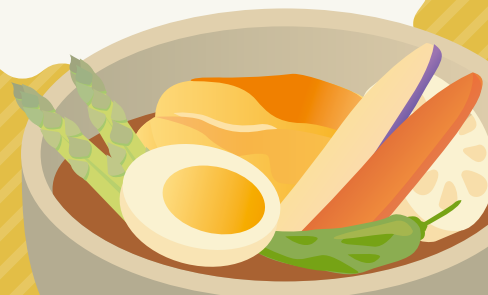
北海道の素晴らしさに魅了され、次の人生は札幌に住むことを決めていました。

時代は移り変わり、音楽業界は再編と若返りが求められ、異業種からの転職&Iターンで札幌に来て、税理士始めました。

いや、始めたのはスープカレーライフ?

今回は自己紹介で終わりましたが、次回から主観たっぷりなスープカレーのご紹介をしたいと思います。

(札幌西支部 前嶋 章宏)



## 今回のカレー

カレー工房花車のスリランカカレー  
地下鉄琴似駅(今年3月に閉店)



## 「社会保障・税番号(マイナンバー)制度」 施行から1年

昨年の10月5日(月)に施行されて、この1年間「マイナンバー」に関しての話題が多かった。この画期的な制度の発足後の状況はどうなっているのだろうか。

### 【個人番号の通知について】

最近の新聞報道によると地方自治体が配布する個人番号の「通知カード」が未だ本人に届いていない世帯が全国に約170万世帯あることが分かった。この数字は昨年10月から全国の約5,968万世帯に送られたが、そのうちの2.8%にあたるという。日本の全人口は約1億2,706万人だから355万人くらいが自分の番号が不明ということになる。返送されたり、住民票と実際の住所の違いがあるらしい。

### 【個人番号カードの申請・交付は】

国は積極的に「個人カード」の申請を進めているがどれほどの申請数があり、いかほど本人に交付されたかに興味がわく。

10月7日(金)に北海道新聞の社会面に道内の人口上位10市の個人番号カードの申請・交付状況が載っている(9月末現在)。それによると

#### ◎札幌市について

人口数	195万9,571人
カード申請者数	16万7,244人
申請率	8.5%
交付済数	10万2,544人
申請者に対する交付率	61.3%

#### ◎他の9市(旭川・函館・釧路・苫小牧・帯広・小樽・北見・江別・千歳)について

人口数	158万3,574人
カード申請者数	13万3,898人
申請率	8.45%
交付済数	9万9,942人
申請者に対する交付率	74.6%

となっている。

全国の数字だが、カード申請者は10月6日(木)時点で1,146万人にとどまっているという。これは全人口の9.4%だ。

カードの申請と交付が進んでいないことについて今年の6月に総務相が新聞社のインタビューに答えて「政府は3,000万枚分のカード発行費を確保したが、申請数は現時点で3分の1の約1,033万枚だ。このうちカードを交付したのは約430万枚にとどまっている」といつていた。すると6月時点で人口1億2,706万人の8.1%の数字となる。予想以上の申請数・交付数の少なさである。同時に対策も述べている。

その原因の一つといわれているのがマイナンバーカードを発行する「特殊法人 地方公共団体情報システム機構」の中継サーバーのシステム障害が1月以降続いたことが影響しているらしい。サーバー障害が50回以上も発生したという。これを知って申請を控えた人も多いのではないかと懸念や情報管理についての疑念などを感じた人がいたと思う。また急いで交付を受けても目に見えた利便性も感じていないのが現実ではなかろうか。

しかし推計すると今年6月から10月までの間で申請者は113万人しかいなかったことになる。

今回の札幌市の8.5%の数字をどう読むのかによるが時間外の受付もするらしい。今後どう推移していくのか興味がある。

これでは年内3,000万枚の交付は無理だがどうなるのであろうか。政府は19年までに8,700万枚のカード発行を見込んでいるというが、現実には何時ごろ達成するであろうか。

究極は行政の効率化が目的ではあるが、カード所持の利点をもっとPRすべきであろう。もっとも将来はこれに社員証・運転免許証・健康保険証などを統合しようとしているらしい。

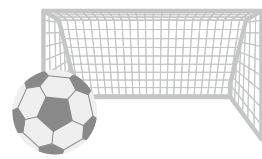
小中 圭三

## サッカー少年のこと



9月、小学2年生の息子のサッカー大会の3・4位順位戦。試合は白熱し引き分けでPK戦に。ゴールキーパーの息子は、エース2人の次にキッカーも務めることになり、見せ場だ。先攻は相手に息子は2本決められ、味方はなんとエース2人が緊張のせいかキーパー正面に打って止められ0-2。息子が横っ飛びでファインセーブ!よく止めた、うるっ。キッカー息子、「コースを狙えっ!」、緊張が走る。ドンッ、右隅に完璧なゴール。親たちも歓声と拍手で、ビデオを持つ手が震える。その後相手が決め、味方が外しPK戦1-3で負けはしたが。

1年生の7月に仲の良い友だちに触発され始めたサッカー。練習参加の初日、一緒に選んだスパイクだが、なんか変だ、やな感じがすると、履いては脱ぎ、ソックスも調整し、を繰り返す30分。「スパイクも履けないオマエにはサッカーは無理だ、帰ろう。」「いやだ、やりたい。」と泣きじゃくる。他の親の目ははばかり大騒ぎしたスタートだったが、よくここまで来たよ。些細なことでも我慢できない、辛いこと嫌なことはやらないのワガママ坊主だが、ボールを蹴ることは楽しくてたまらない。試合が終わっても、とーちゃんパス練するぞ、いいだろうどこまでも付き合ってやるよ。会場は撤収され、だーれもないグラウンドで2人きりで蹴りあった。キック力だけはエースも凌ぐ位になってきた。手でキャッチする、投げる動作も長けていて、大事な試合では必ずキーパーを任せられ、3年生の試合でもキーパー要員として選ばれるまでになった。それを意気に感じている様だ。頼られ、チームに居場所があり、試合には常に出られる、それは大変喜ばしいことだ。しかし、ボールタッチ、ドリブルはなかなか上達せず、低学年特有のボールを団子状態で蹴り合うなか、チョンと足を出し相手の足にボールをぶつける。ウン〇に恐る恐る触れるみたいだ、ウン〇キックと名付けよう。そうじゃ



札幌東支部  
米澤 篤志  
Atsushi Yonezawa



ない、このボールは俺のものだと叫び足裏で自分の足元に引き寄せ体を敵とボールの間に入れキープするんだ。それも徐々にマスターし、ボールキープからドリブルで持ち込みゴールもできるようになってきた。できたじゃないか楽しいだろ。

私はずっと野球をやってきて、妻もソフトボールをバリバリにやっていたので、何としても野球をやらせたくったがなかなか興味を持ってくれなかった。ボールを真っ芯で捉え、飛球を見送る快感、みんなで掴む勝利の喜びを味あわせてやりたかった。2クラス60人の同学年でサッカー少年団に入ってる子は13人、野球少年団はなんと1人だけ、悲しいかな今やそういう時代だ。できる子も経験の浅い子も和気あいあい実には楽しそう、この明るさは野球には乏しいかな。手軽にできる一方で個々の技術、戦術は奥が深い。目標を持って長く取り組めるスポーツだ。息子は今は楽しくて熱中しているだけだが、これからは努力して体力をつけ、技術を磨いていかなければならない。上手にならないと試合で良いプレーができず、ひいては楽しくないのだ。そして楽しくなければ長く続かない。チームの中で確執があったり、挫折を味わったりもするだろう。その中で礼節を学び、社会性を身に付け、強靱な体と精神を養って欲しい。それが必ずこれからの長い人生の糧となり財産となる。ワガママ坊主の成長、変貌をずっと見守り、応援しているぞ。



チームのMVPをもらってご満悦



観覧スペースで無邪気に遊ぶ4歳の娘

# 委員長やまやの 取調室!



## 第5回目の今回は、FX4クラウド推進グループの福田俊彦さんです。



出身	栃木県小山市	出身校	専修大学
趣味	料理(中華料理:主にクックドゥ使用) 小旅行(「北の国から」のロケ地富良野と美瑛が好き)		
血液型	B型	星座	うお座
愛車	ステップワゴン	愛読書	TKC基本講座
好きなスポーツ	バスケットボール(中高バスケ部、中学ではセンター高校は補欠)		
好きな税理士	FX4クラウドを推進していただける先生		
どんな人と言われる?	初対面は顔のイメージで恐いと思われそうですが、実はとても照れ屋です。(ギャップ感ありすぎて、よく言われますよ。笑)		
失敗談	以前私がセンター長だった時、女子SCGの名前を呼ぶ際に誤って自分の女房の名前で呼んでしまい、呼ばれた本人はもちろんのこと、その場にいた社員に大爆笑されてしまいとても恥ずかしい思いをしました。 (若い時分から人のお名前を覚えることが苦手で、たまにお名前を間違えてお呼びしてしまうこともあったりして、実は私自身、少し困っています...)		
会員へのメッセージ	FX4クラウドは提供開始から早5年半が経過しました。先生方や職員様方のご指導の下、道内でも本年10月末現在で512社導入されております。(道内実践事務所:約40%) 最近の道内における導入社数の増加に伴い本年10月から1名増員され、推進担当者3名、導入支援担当者2名の合計5名となり、事務所様及び関与先企業様へのご支援体制が充実しました。 我々と致しましては、センター社員と共に「税務と会計の一気通貫」のご支援を通じて、優良顧客の離脱防止のために精一杯、事務所様へのご支援をさせていただき所存です。 年の瀬もせまり、事務所様におかれましては繁忙期に突入していかれることと思いますが、体調に留意していただければ幸いです。また、我々も繁忙期にも事務所様へ訪問させていただきますので、その際にはSCG共々何卒よろしくお願い申し上げます。		

## 融資の相談



★急募 漫画家求む! 広報委員会

取り調べを終えて  
とても一生懸命に動いてくれる福田さんです。一生懸命過ぎてトラベリングするのがたまにキズですが、でもグイグイ推進してくれるので、頼りになります。今後もどんどんシュートを決めて欲しいです。(やまや)



札幌西支部  
谷水 千晶  
Chiaki Tanimizu

私の出身地は道東の置戸町です。札幌で置戸町出身ですと言っても、ご存知の方があまりいらっしゃらず、ちょっと寂しい思いをすることも多いです。ですので、今回この場をお借りして私のふるさとの置戸町についてご紹介させていただきたいと思います。

場所は道東のオホーツク管内の南西端にあり、北見市や訓子府町、十勝の足寄町・陸別町と隣接した場所にあります。面積の85%を森林が占めており、(良く言えば)とても自然豊かな場所です。人口は現在約

3,000人ですが、私が小学生の頃は人口5,000人で牛が6,000頭と、人よりも牛の方が多いというちょっとした逆転現象が起こっていました。このことから分かるように、酪農と畑作が盛んな町です(ちなみに私の実家は酪農業を営んでいます)。畑作はビートや白花豆、玉ねぎなどが多く作られています。

私が通っていた小学校はすでに閉校になりましたが、全校生徒が30名ほどの小さな学校で、クラスも2学年ごとのいわゆる複式学級でした。冬は気温がマイナス30℃まで下がることもあり、そんな中毎朝30分の道のりを歩いて小学校まで登校していたのを、今でも冬になると寒い記憶とともに思い出します。

森林が豊かな町だけに、特産品には「オケクラフト」という木工クラフトがあります。特にお椀やお皿、スプーンなどの食器が有名で、小学生の頃はこの器で給食を食べていました。今思うと贅沢な小学生だったと思います。

曲げ輪のお弁当箱や北欧雑貨のような盛り皿など、木目を活かしたなかなか素敵な器が揃っています。町内に森林工芸館というショップがありますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



## 新入会員の紹介 NEW MEMBER

伊藤 貴雄 (札幌西)

平成28年8月26日入会  
昭和54年10月26日生まれ

事務所住所  
〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目2番地5  
速藤会計ビルディング  
税理士法人エンカレッジ  
電話(011)215-7130 FAX(011)215-7133

プロフィール  
●出身地/札幌市  
●前職/税理士事務所  
●趣味・特技/仕事  
●夢・ひとこと/マイペースで取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。



柳橋 琢磨 (札幌東)

平成28年9月2日入会  
昭和48年4月4日生まれ

事務所住所  
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目20番地  
東京建物札幌ビル3F  
税理士法人しらかば総合会計事務所  
電話(011)756-1010 FAX(011)776-6890

プロフィール  
●出身地/釧路市  
●前職/会社員  
●趣味・特技/読書、スポーツ観戦  
●夢・ひとこと/はじめまして新入会員の柳橋です。これからはTKC北海道会の一員として、会発展のため力を尽くしたいと思います。将来の夢は、60歳で作家デビュー、65歳で映画監督デビューです。よろしくお願いたします。



小山 僚子 (札幌東)

平成28年9月23日入会  
昭和46年1月17日生まれ

事務所住所  
〒062-0903  
札幌市豊平区豊平3条2丁目1番29号  
小山僚子税理士事務所  
電話(090)5951-5884

プロフィール  
●出身地/福岡県北九州市  
●前職/税理士事務所  
●趣味・特技/特技申告・趣味申告(笑)  
特に相続税の申告が好きです  
●夢・ひとこと/短い人生、仕事もプライベートも「之を楽しむ者に如かず」



石川 透 (札幌西)

平成28年10月3日入会  
昭和47年7月29日生まれ

事務所住所  
〒063-0051  
札幌市西区宮の沢1条4丁目8番18-1003  
石川透税理士事務所  
電話(011)667-5028 FAX(011)777-2257

プロフィール  
●出身地/三笠市  
●前職/税理士事務所  
●趣味・特技/腹筋運動  
●夢・ひとこと/昨年開業したばかりの新米税理士です。どうぞよろしくお願いたします。



前嶋 章宏 (札幌西)

平成28年10月3日入会  
昭和45年7月27日生まれ

事務所住所  
〒060-0007  
札幌市中央区北7条西24丁目2番16-403号  
MJI Consulting&Accounting  
電話(080)3696-0727 FAX(011)624-6138

プロフィール  
●出身地/東京都  
●前職/レコード会社(税理士法人にも短期間)  
●趣味・特技/スープカレー、音楽、アニメ、プロレス...色々ラタしてます。  
●夢・ひとこと/スープカレーのコラムははじめましたm(\_)\_m



小川 俊輔 (札幌東)

平成28年10月5日入会  
昭和44年8月22日生まれ

事務所住所  
〒004-0033  
札幌市厚別区上野幌3条3丁目4番26号  
小川俊輔税理士事務所  
電話(011)893-9047 FAX(011)893-9047

プロフィール  
●出身地/稚内市  
●前職/建設会社  
●趣味・特技/フットサル、読書  
●夢・ひとこと/たくさん海外旅行ができるように頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



## 編集後記

9月29日(木)積水ハウス部会の研修後の懇親会にて、団子3兄弟の写真を撮ることに成功しました。髪型は一緒だけど、並んでみるとそれぞれ個性がありますね。ちなみに左側から積水ハウスの山下雄一郎さん、札幌西支部米倉弘之会員、札幌東支部坂本文彦会員です。(山谷)

